

# 茨城研究開発型企业交流協会 (IRDA) 設立30周年 記念シンポジウム開催

## ～みんなで茨城を盛り上げよう!～

一般社団法人の茨城研究開発型企业交流協会(IRDA、仁衛琢磨会長)は、設立30周年記念シンポジウムと祝賀会を茨城県つくば市のホテルグラン東雲で開催した。IRDAは茨城県内中小企業など約30社の会員で構成し、製品の共同開発や共同受注、技術交流などの活動に取り組んでいる。シンポジウムには会員企業や支援機関の関係者約1000人が出席。30周年を祝うと同時に、パネル討論で県内産業活性化の方策などを議論した。

### 新事業・新製品の創出で成長

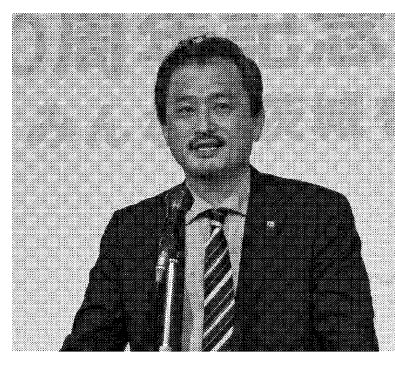
「みんなで茨城を盛り上げよう」をテーマにパネル討論を実施した。シンポジウムでは、与したと思います。また、業態をあげ、オーダーメイドだけではなく、自社製品を持てた。成長要因になり(つくば市)の仁衛琢磨社長、西野精器製作所(ひたちなか市)の西野信弘社長、ベテル(石岡市)の鈴木潤一社長、エムテック(ひたちなか市)の松木徹社長、野上技研(常陸大宮市)の野上良太社長、Doog(つくば市)の大島章社長の6人の県内企業トップが参加。モデレーターは常陽銀行の中嶋勝也顧問が務め、企業の進むべき方向性を熱く議論した。

「みんな茨城を盛り上げよう」をテーマにパネル討論を実施した。シンポジウムでは、与したと思います。また、業態をあげ、オーダーメイドだけではなく、自社製品を持てた。成長要因になり(つくば市)の仁衛琢磨社長、西野精器製作所(ひたちなか市)の西野信弘社長、ベテル(石岡市)の鈴木潤一社長、エムテック(ひたちなか市)の松木徹社長、野上技研(常陸大宮市)の野上良太社長、Doog(つくば市)の大島章社長の6人の県内企業トップが参加。モデレーターは常陽銀行の中嶋勝也顧問が務め、企業の進むべき方向性を熱く議論した。

中嶋 平成の時代は製造業にとって厳しい事業環境が続いてきた。皆さんは会社をどのように成長させてきましたか。  
仁衛 当社は研究開発支援ソフトウェアの開発を手がけています。私が2006年に社長に就いてから、経営トップが営業と技術の両方の側面を見ると、このように企業活動(営業)と技術を分離する体制にしたことが会社の成長に大きく寄



パネル討論で茨城県の産業界の今後を議論 (右から中嶋氏、仁衛氏、西野氏、鈴木氏、松木氏、野上氏、大島氏)



### IRDA 仁衛琢磨会長あいさつ

IRDAは平成元年(1989)に産声を上げ、当初は茨城県商工労働部(現在の産業戦略部)が事務局を務める任意団体として出発しました。県内の研究開発型企業の交流を目的とした団体であり、その趣旨は現在に引き継がれています。  
東日本大震災のあった2011年に県の事務局体制を卒業して独立し、15年には一般社団法人化しました。近年は交流の幅を広げる取り組みを強化し、国内だけでなくロシアや欧州など海外の企業や団体とも交流を図ってきました。日常的にも多くの自主事業を展開しています。  
IRDAは、会員企業に直接・間接に役立ち、ひいては社会の役に立つ存在でありたいと常に考えています。また、開かれた組織を目指しています。地域内で小さなハイを奪い合うのではなく、世界で勝負しなければならぬ時代です。人口減少やそれに伴う人手不足など、企業を取り巻くさまざまな問題について、皆で考えていきたいと思います。  
IRDAは平成の30年間を生きてまいりました。会員をはじめとした企業関係者の皆さん、そして関係機関の皆さん、令和の時代も一緒に刺激し合い、協調し合いながら茨城の産業を盛り上げて行きましよう。

### さらなる飛躍へ 人材育成不可欠

中嶋 平成から令和の時代に入りました。これからの企業経営では何が重要か、皆さんの考えるキーポイントを教えてください。  
大島 自社がどんな価値を提供しているかを考えることが、まず重要だと思います。当社の場合「現場の生産性の向上と、楽しく快適な価値を提供する」ことです。こうした会社のあり方は、時代に沿って変わらなければならないと思います。状況に応じて柔軟に改善していく必要があります。  
野上 自社が持つ世界トップレベルの加工技術にデジタル技術を融合させ、新しい価値を生み出すことが重要です。

モデレーター、パネリスト一覧		
モデレーター	常陽銀行	地域協創部 顧問 中嶋 勝也 氏
パネリスト	ペンギンシステム	社長 仁衛 琢磨 氏
	西野精器製作所	社長 西野 信弘 氏
	ベテル	社長 鈴木 潤一 氏
	エムテック	社長 松木 徹 氏
	野上技研	社長 野上 良太 氏
	Doog	社長 大島 章 氏

### 30周年ありがとうございます!

IRDAはこれからも研究所・大学・企業の革新的研究開発を担う研究開発型企业の連合体として邁進します!

